



ロータリーはみんなを幸福にする

2022-23年度

国際ロータリー会長

ジェニファー E. ジョーンズ

第2600地区ガバナー 上沢 広光

国際ロータリー第2600地区 上田六文銭ロータリークラブ Rokumonsen Rotary Club

【事務局】〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1 上田東急REIホテル 3F

TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002 <http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30 《例会場》上田東急REIホテル 2F 《創立》1997年2月18日

●会長 齊藤恵理子 ●幹事 中澤 信敏 ●出席・会報・ニコBOX委員長 生川 秀樹 ●副委員長 杉山 裕 ●委員 小嶋 修一 / 宮原 宏一

写真協力：上田市マルチメディア情報センター

例会日誌

- 司 会 齊藤 仁君
- 開会点鐘 齊藤恵理子君
- R ソング 「我等の生業」
- ゲ ス ト
スペシャルオリンピックス日本・長野
ゴルフ・アルペンスキー主任コーチ
行田 伸一様
- 委員会報告
・会員増強・親睦会場委員会
「12/20 チャリティーオークションご協力のお願い」

会長挨拶

齊藤恵理子君



本日はスペシャルオリンピックス日本・長野から行田伸一さんにゲストスピーチをして頂きます。

スペシャルオリンピックスは、アスリートの家族やボランティアに支えられ運営され、本日のゲスト行田さんも長年にわたりコーチとしても支援を続けられております。

開催趣旨に、障害の有無に関わらず、互いの違いを理解し認め合い、多様な人々が共に生きるインクルージョン社会に繋がる機会を作るとありました。ロータリーも DEI を中核的考えとしインクルージョン社会の発展に寄与して行く事が大切であると思います。

今日のお話を聴いて多様性を理解する一助にしたいと思います。

地区大会ご報告 中澤幹事より



今年度は更埴で地区大会が開催されました。当クラブから3名出席しました。例年参加して感銘を受けることは青少年アワーの発表です。ローターアクト・インターアクト・交換留学生・米山奨学生が壇上に立ち発表を行います。

私達ロータリアンの会費でこのような未来ある青少年の育成に携わっていることを感じられる良い機会だと思います。今年度は行事が重なってしまい、少人数の出席となりましたが、是非来年度はご出席いただけましたらと存じます。

幹事報告

中澤 信敏君

1. RI より
 - ・リソースのご案内
 - ・国際大会日本人親善朝食会のご案内
2. 米山奨学会より
 - ・ハイライトよねやま 272号
3. 地区事務所より
 - ・地区大会御礼
4. 上田市防衛協会より
 - ・『自衛隊ふれあいコンサート in 上田』御礼
5. 理事会より
 - ・11月理事会議事録

出席・ニコ BOX 報告



小嶋 修一君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	20	8	0	60.00%
前々回	17	14	6	52.94%

- 斉藤恵理子君 行田さん、遠くからお忙しい時期にありがとうございます。本日よりしくお願いします。
- 中澤信敏君 行田様、本日はようこそいらっしゃいました。
- 斉藤 仁君 本日年一回の宅建の試験の合格発表で社員が一名合格する事ができました。
- 合原亮一君 週末久しぶりに長男一家、次男一家と過ごすことができ、楽しいひとときでした。
- 吉田 穰君 行田伸一様ようこそ六文銭 RC へ。本日のゲストスピーチ楽しみにしています。よろしくお願いします。
- 伊藤 豪君 本日のゲストスピーチ楽しみにしております。よろしくお願いします。

- 小嶋 修一君 松澤 一志君 宮原 宏一君
- 西澤 尚夫君 田中 栄一君 横沢 正君

ニコニコ BOX 喜投額 11/22	13,000 円
今年度累計	293,001 円 32.6%

プログラム

ゲストスピーチ

公益財団法人
 スペシャルオリンピックス日本・長野
 ゴルフ・アルペンスキー主任コーチ
 行田 伸一 様



スペシャルオリンピックス (SO) とは？

オリンピック・パラリンピック・スペシャルオリンピック以外でのオリンピックという言葉は使用不可、世界的組織で、世界のどこかでいつも活

動しています。

スペシャルオリンピックスの使命は知的発達障害のある人たちに年間を通じてオリンピック競技種目に準じた競技会と、才能や技能、友情を分かち合う機会を継続的に提供する事です。

1962 年に故ケネディ大統領の妹ケネディ・シュライバー夫人が自宅の庭を開放して開いたデイ・キャンプがスペシャルオリンピックスの始まりです。1968 年にジョセフ・P・ケネディ Jr 財団の支援により組織化され、「スペシャルオリンピックス」となり、全米から世界へ広がっています。現在 170 カ国以上、約 370 万人のアスリート、85 万人以上のボランティアが活動に参加しています。

国内での活動

1991 年に熊本から参加した 10 歳のアスリートが体操競技で銀メダルの快挙が多くの人々の感動を呼んだことがきっかけとなり、1994 年「スペシャルオリンピックス日本」が設立されました。

日常的なスポーツトレーニング・プログラム

SO の最も大切な活動は、各地で行われる日常的なスポーツトレーニング・プログラムです。同じ地域に住むボランティアがコーチ等を務めアスリート達とスポーツを楽しむことが基本方針です。アスリートはチャレンジする勇気やボランティアと親しくなり世界をひろげ、ボランティアは知的発達障害に対する理解を深め、人として多くの事を学びます。

競技会とディビジョニング

SO の協議会は地区大会・全国大会・世界大会があります。

ディビジョニングとは、年齢、性別、競技能力の到達度などに応じてクラス分けすることです。競技会に出場したアスリート全員が決勝に進み、全員が表彰台を受けます。全てのアスリートに勝利のチャンスが与えられています。



ゴルフ用品を寄贈させていただきました。

12 月 13 日例会予定

出席・会報・ニコ BOX の日